第 11 回 大阪市 PCB 廃棄物処理事業監視委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成 20 年 3 月 17 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 40 分
- 2 場 所 日本環境安全事業株式会社 大阪事業所
2F プレゼンテーションルーム
- 3 出席者
(専門委員)
福永委員長、中地副委員長、中室委員、花嶋委員、廣田委員、渡辺委員
(市民委員)
宮川委員、神谷委員
(環境省)
高橋廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長補佐
(日本環境安全事業株式会社)
齊藤事業部長、庄賀事業部上席調査役、清水大阪事業所長、櫻井大阪事業所副所長
(環境局)
木村廃棄物適正処理担当部長、松本事業部産業廃棄物規制担当課長代理

(オブザーバー)
曾和 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課主幹
杉原 京都府企画環境部循環型社会推進室担当係長
辻井 大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課主査
常友 兵庫県健康生活部環境管理局環境整備課技術吏員
堀 和歌山県環境生活部環境政策局廃棄物対策課副主査
- 4 議 題
 - (1) 大阪 PCB 廃棄物処理施設の操業状況について
 - (2) 大阪 PCB 廃棄物処理施設の内部技術評価結果について
 - (3) 日本環境安全事業株式会社他事業所の処理状況について

5 議事要旨

- (1) 日本環境安全事業株式会社から大阪PCB廃棄物処理施設の操業状況について説明があり、併せて本市から平成19年度廃棄物の適正処理の推進に関わる環境モニタリング調査結果について説明を行い次のような意見があった。

〈意見等の概要〉

- ・PCB処理については決して急がせるつもりではなく、安全第一で願いたい。
- ・払出量について今後は年度ごとの単位で報告願えないか。
- ・作業場内における転倒や打撲について設備的に直せる部分があれば直して、事故を防いでいただきたい。
- ・社内安全教育について同じパターンでやっていくと“なれ”が生じてしまう。この“なれ”が非常に怖いものであり注意が積極的でないことも出てくるので、考慮していただきたい。
- ・暑さ対策についてであるが、作業場内のPCBの蒸気が飛び、それを吸ってしまつて作業員の血中濃度が上がったとの事例が北九州であった。温度管理については繊細に注意を払っていただきたい。

- (2) 日本環境安全事業株式会社から大阪PCB廃棄物処理施設の内部技術評価結果について説明があり次のような意見があった。

〈意見等の概要〉

- ・事業所、運転会社、三井造船、ジョイント会社、企業体がうまく役割分担できており、内部評価の結果も高かったと思われる。

- (3) 日本環境安全事業株式会社から日本環境安全事業株式会社他事業所の処理状況について説明があり次のような意見があった。

〈意見等の概要〉

- ・すべての事業所が安定した稼働をしているわけではないので、まずは安定的な稼働を目指した上で、今後研究していくべきである。
- ・全般を通じて、現況非常にうまくいっているものと思うが、最終的に機械を動かすのはヒトであり、事故を防ぐのも事故を引き起こすのもヒトである。ケガをしないためには、働いている方のモチベーションも重要と思われるので、働きがいのある職場になるよう留意していただきたい。

- (4) 今後の対応

上記の意見をふまえ、今後も住民と行政共にPCB廃棄物処理事業について当委員会を通じ、監視していく。

6 会議資料

- (1) [大阪PCB廃棄物処理事業の進捗について \(PDF:2.06MB\)](#)
 - (2) [大阪PCB廃棄物処理施設運転開始後6ヵ月後内部技術評価結果について \(PDF:349KB\)](#)
 - (3) [日本環境安全事業\(株\)他事業所の処理状況について \(PDF:188KB\)](#)
 - (4) [平成19年度環境モニタリング調査結果について \(PDF:168KB\)](#)
- (参考資料) [大阪PCB廃棄物処理事業だより \(No. 13\) \(PDF:316KB\)](#)

7 次回開催予定

平成20年度7～8月

8 お問い合わせ先

環境局 事業部 産業廃棄物処理業担当

TEL 06-6630-3289

FAX 06-6630-3581